時事新報定價
郵送料廣告料ハ左ノ如シ
一枚二錢○一箇月前金五十錢○三箇月前金一圓五十錢○六箇月前金三圓○一箇年前金六圓
○時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ郵送スルモノニ限リ右定價ノ外ニ一箇月十五錢ノ郵送料ヲ申受ク
時事新報廣告料前金

一行五號活字廿四字詰	一日限	一日以上六日迄	七日以上
一行ニ付	十二錢	十一錢	十錢五厘

月曜日并に大祭祝日の翌日等他新聞紙の休刊日に限り時事新報配達の求めに應ず此場合には新報代價一箇月に金八錢にして地方に郵送する分は此外に郵便の實費を申受く可し

時事新報

國情發表の手段を講ず可し

今の世界は是非曲直疑似多端なる世界にして此際已れに雷合よき意見を聲高く勢鋭く先づ世上に發表する者あれば世界の輿論を動かして他を壓倒するみとを得べし左れば今我日本國も世界各國と交際を開きて世界の月旦評中に是非の評價を得べきに就ては國中狹き區域に於て低聲に理窟を言ふのみならず世界交際の多なる國に適當ある有志者新聞紙等を得て我國の利害を代表し公平實着に論辯せしむるの手段を講ぜざる可らず勿論我輩は事實を誇張し失策を辨護するの意あるに非ず有りの儘の事實を有りの儘に論じ麗實混合他人の爲めに誣ひられて寃枉屈辱を蒙らざらんみとを期する者にして此事を思ひ附きたるは固より一朝夕の故に非ず現に今より數年前清佛爲藤に引續きて日清交渉の起りたる時にも西洋諸國の新聞紙をして此兩國間の擧動に付き偏頗の見を抱かざらしめんが爲め海外諸國中に於て我利害を代表するものを得ざれば支那の如き春秋戰國以來の筆誅を以て隨分外交術に抜目なきが故に彼れ若し我先を越すときは他日噬臍の悔ある可しとて毎度事見を述べたる事ありしが此言當局者に通せずして今日に至るまで未だ曾て其實行を見ざるが如き我輩の痛惜する所なり今新參の國を以て先進文明國中に其頭角を露はさんとするには非常の苦心と勞費とを辭せず官民共に力を協せて之に從事す可き筈にして現に彼の伊太利國の如き一時國内土崩して強弩の末勢魯縞を穿たざるの觀を呈したれども古昔羅馬帝國の歴史は今尚煥々然として遺烈を天下の人心に留め其歐洲諸國に知らるゝは固より我日本國などの比す可きに非ず然るに近時伊太利國の評判は寥々として久しく世に聞えず其就一後に至りても之を國牙に掛くるものなきの勢を成したれば伊太利中憂國慷慨の士は自國を歐洲列國中の一として其外交上に伊太利問題と云へる者を加へざる可らずとて言民共に苦心盡力する其中に志士カブールある者あり自から英國倫敦に赴きて身を交際社會に投じ時の宰相パーマーストン卿の知遇を得、其事實として卿の外交政略上に助言する所少なからず當時カブール政略と云へる言葉の行はれたりしもカブール氏がパーマーストン卿の袖に隱れて陰に其政略を獻じたるが爲めなりと云ふ時の宰相の知遇を得るみと誠に此くの如くあれば社會一般人にも尊重せられ交際殷繁の間に於て自然伊太利の評判を高くし或は新聞紙上に或て或は國會議院に於て往々伊太利問題を生ずるに至りたれば「グラドストーン」氏は自から伊太利に赴きて實地調査の上歸り來りて所見を國會議院に述べたるもの即ち伊太利論說として最も有名なる者にして是より其後、伊太利の名は次第に歐洲諸國に響き渡りて今日の位地に達したりと云ふ昔より歐洲諸國中に其名を轟かしたる伊太利國さへ一朝國家の運命に際して名聲久しく閉ぢざれば其同僚國に忘却せらるゝみと此くの如く其忘却せらるゝものを更に回想せしめんとするに非常の苦心盡力を爲すみと亦實に彼れが如し然るに我日本國の如き歐洲諸國の人々は從來その名さへ知らざりし程の次第なれば今や諸國と交際して我眞意眞情を知らしめ社會進歩の狀態を知らしめ我法律裁判の下に西洋國人を生息せしめて聊か差支なきに至るまで充分了解せしめんとするには官民共に勞費を厭はず國の全力を傾けて氣根強く目的を達するの覺悟なかる可らず左おきだに從來我國に居留する外國人などは彼の治外法權を笠に被て我德勝手を働くを例とし成る可く此狀態を永續せしめんとして本國に通信する所見中にも實を盡さゞるの趣なきを得ず一回營利的人の心眼を經れば我國の事情を反射するの光線も亦種々に屈曲して先方に映する所の者は決して實の寫眞に非ず即ち海外の見物人を誤りて彼等の心中常に我國に不利なる判斷を生せしむるは毎度有り勝ちの事にして我條約改正等に就ては之れが爲めに既に多少の障碍を與へ今後も亦與へんとするの恐なきに非ざれば我國情の有りの儘を海外諸國に通知するに適當の方法を工風するみと正に今日の急務なりと云ふ可し而して此方法如何に就ては其說樣々なりんと雖ども我輩は在歐洲の日本公使館を倫敦、巴里の二箇所位に集め此二箇所の公使館には特命全權公使として屈指の大政治家を派遣し置き交際費萬端諸外國公使館に愧ざるやう充分支給するは勿論、